

## 第64回全道高等学校新聞研究大会（石狩大会）

# 分科会案内

全道高等学校新聞研究大会で最も大切な活動は分科会です。全道各地で新聞を作っている仲間たちが、お互いに持っている技術や経験、さらには情熱をぶつけ合い、交流します。

経験の長さは関係ありません。みんな新聞を作る仲間です。自分の意見を思い切りぶつけ、技術を学び、新しい発見をし、仲間とのつながりを大切にして明日からの新聞作りのエネルギーを蓄えよう。

今年は新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催となりました。まったく前例のない大会だけに、分科会でも皆さんの協力が不可欠です。困難な状況だからこそ、みんなで新しい大会を成功させよう。

## ●分科会参加の準備

### 1 アップロードを確認しよう

- ① どの分科会になったのか 10月 7日（水）～ 国際情報高校HPを確認。
- ② 関係する分科会の提言者レジュメ（10月19日HP掲示予定）を各自で印刷。大会当日も持参。

### 2 提出方法を確認しよう

- ① IV分科会参加者のうち、各支部より1名は、支部活動報告を国際情報高校へメールで提出。  
締切は 10月 12日（月）

## ★分科会打ち合わせ

- ① まず、石狩支部内で司会と運営者との打ち合わせを行います。
- ② 議論の方向性や段取りについてある程度まとめてから、提言者、助言者にメールなどでお知らせし、ご意見をいただいて調整します。

## ■分科会一覧

分科会とテーマ	討議内容・実技内容紹介	準備するもの
第Ⅰ分科会 【高校生新聞のあり方】	・コロナ感染症拡大のような緊急事態下で、高校生新聞には何ができ、何をすべきなのか話し合おう。 ・生徒会行事を例に、母校の伝統や自校生徒の権利を守るために何ができるのか話し合おう。	①提言者レジュメ ②アンケートが行われた場合は、その資料。
第Ⅱ分科会 【高校生新聞の作り方・よりよい新聞をどう作るか】	・従来の新聞制作技術に加え、リモート取材など、新型コロナウイルス感染症対策を兼ねた取材技術を実践的に学ぶ。午後は実際にリモート取材を行い、その取材の様子やまとめた文章を講師に批評していただく。	
第Ⅲ分科会 【現代の高校生を取りまく問題を考える】	・新型コロナウイルス感染症のために起こった問題を校内、校外に渡り話し合おう。 ・これからの学校行事の可能性、「9月入学」問題について話し合おう。	①提言者レジュメ ②アンケートが行われた場合は、その資料。
第Ⅳ分科会 【支部活動を活発にするために】	・各支部・各学校の状況や活動内容を報告し、日ごろの活動における悩みから全道大会のあり方に至るまで、意見交換しよう。 ・歴史に学び、北海道の高校生新聞の活動が充実していくための方策を話し合おう。	①各支部の報告 ②アンケートが行われた場合は、その資料。

## ●第Ⅰ分科会 高校生新聞のあり方

コロナ感染症拡大のような緊急事態下で、高校生新聞には何ができ、何をすべきなのか話し合おう。また、生徒会行事を例に母校の伝統や自校生徒の権利を守るために何ができるのか話し合おう。

### ◆具体的な討議内容

- 1 コロナ感染症拡大のような緊急事態下で、高校生新聞には何ができ、何をすべきなのか話し合おう。
  - ① 今回の緊急事態を紙面でどう取り上げたか、または、今後どのように取り上げたいと思っているか紹介し合い、意見交換しよう。
  - ② 高校生新聞には何ができるのか、大きなことからほんの些細なことまで、意見を出し合おう。
  - ③ 母校の伝統や自校生徒の権利を守る視点から、高校生新聞にできること、やるべきことを話し合おう。できれば、高校生新聞が持つべき理念についても議論しよう。
- 2 生徒会行事を例に母校の伝統や自校生徒の権利を守るために何ができるのか話し合おう。
  - ① 各学校の生徒会行事がどのように中止され、改変されたか、実情を報告し合おう。
  - ② この年度で母校の伝統や生徒会行事の伝統が分断されないために、あるいはこれを機会に発展させるためには高校生新聞に何ができるか、上記1②③の議論をふまえて話し合おう。
  - ③ 上記2②を記事につなげるためには、具体的にどのような企画が考えられるか、話し合おう。
- 3 その他（時間が許せば、情報交換しましょう。）
  - ① コロナ休業中の学習はどのような方法で行われましたか？
  - ② 各学校で、消毒はどのように行っていますか？
  - ③ マスクをした状態での真夏の授業は熱中症が心配されますが、学校での熱中症対策（特に授業中）はどのように行われましたか？

### ◆参加者への確認事項

- 1 10月19日（月）以降に当番校HPにアップロードされる「提言者レジュメ」を読んだ上で、上記の具体的な討議内容について、当日までに自校の状況や自分の考えをまとめておいてください。
- 2 当番支部から、当日の討議に必要と思われるアンケートを送ることがありますので、その場合は期日までに回答願います。
- 3 提言者レジュメをプリントアウトし、当日忘れずに持参して下さい。
- 4 例年のような参加者レジュメは必要ありませんが、討議する上で、個人でまとめたレジュメや資料をグループ内に配布したい人は、10月30日までに大会事務局校（国際情報高校）へデータを送付してください。送付されたレジュメや資料は、HPから参加者各自でダウンロードしてもらいます。レジュメや資料は、必ず電子データにし、メール添付するようお願いします。

送付先： [kokujyo-newspaper@mail.sit.ed.jp](mailto:kokujyo-newspaper@mail.sit.ed.jp)

## ●第Ⅱ分科会 高校生新聞の作り方・よりよい新聞をどう作るか

### 《インタビュー取材して記事を書こう》

元北海道新聞記者の伊東正剛氏を講師に迎え、取材の方法と記事の書き方について学びます。特にインタビュー取材記事を書くための質問の作り方やまとめ方、記事の書き方を学びます。

どのような視点でその人物に迫り、何を聞き出すのか、事前準備を行い、実際にオンライン取材（共同記者会見形式）を行います。取材後、短時間で記事にまとめ、参加者間で共有します。講師のアドバイスや参加者のコメントから、インタビュー記事の書き方のコツを学びます。

#### ◆実技内容

- 1 取材の仕方・準備、記事の書き方などについての講義（画面共有）。
- 2 講義内容に対する質疑応答（チャットの利用）。
- 3 オンライン共同記者会見（取材はコンサドーレ札幌へ依頼）。
- 4 各自で記事を書きチャットに投稿。
- 5 講師によるアドバイス、講評。

#### ◆参加者への確認事項

- 1 取材対象者が決定次第、参加者がいる各校顧問へ取材対象者氏名、所属、プロフィール等をお伝えします。
- 2 大会当日まで、聞きたいことや具体的な質問を10項目以上考えてメモしておく。

## ●第Ⅲ分科会 現代の高校生を取りまく問題を考える

校内・校外における様々な問題を考えます。新型コロナウイルスの感染拡大により、学校行事・部活動・授業など私たちの学校生活は大きな影響を受けました。今回は、各校の現状について情報交換しながら、「これからの学校行事の可能性」、「9月入学の是非とその課題」をテーマに話し合います。身近にある問題を深く考えることは、新聞に記事として取り上げる際にも重要になってきます。各校の状況や自分の考えを出し合い、新聞にどう取り上げていくか討議します。

### ◆具体的な討議内容

- 1 「これからの学校行事の可能性」について
  - ① 新型コロナウイルスにより、学校行事、部活動、授業など学校生活にどのような影響が及んだか、各校の現状について報告する。
  - ② 各校の感染予防対策とそれによる学校生活における行動制限について報告する。
  - ③ 新型コロナウイルスによる自粛が、学校生活や人間関係にどう影響を与えているか考える。
  - ④ 学校行事の自粛など、自校新聞で取り上げた記事があれば報告し、意見交換する。
  - ⑤ 各校の生徒会執行部が、新型コロナウイルスの感染予防をしながら10月以降に計画している学校行事があれば報告し、意見交換する。
  - ⑥ これからの学校行事や学校生活について、高校生新聞でどう取り上げたらよいか考える。
- 2 「9月入学の是非とその課題」について
  - ① 「9月入学」がクローズアップされた理由とそれに対する都道府県の回答や文部科学省の見解について事前に各自が調べる。
  - ② 「9月入学」を導入することによって、学校でどのような課題が発生するか意見交換する。
  - ③ 「9月入学」を導入することによって、社会でどのような課題が発生するか意見交換する。
  - ④ 「9月入学」は大阪の高校生の発言から始まり、全国的な議論へ展開された。高校生が意見を発信することや、高校生新聞の持つ可能性について意見交換する。

### ◆参加者への確認事項

- 1 10月19日（月）以降に当番校HPにアップロードされる「提言者レジュメ」を読んだ上で、上記の具体的な討議内容について、当日までに自校の状況や自分の考えをまとめておいてください。
- 2 当番支部から、当日の討議に必要と思われるアンケートを送ることがありますので、その場合は期日までに回答願います。
- 3 提言者レジュメをプリントアウトし、当日忘れずに持参して下さい。
- 4 例年のような参加者レジュメは必要ありませんが、討議する上で、個人でまとめたレジュメや資料をグループ内に配布したい人は、10月30日までに大会事務局校（国際情報高校）へデータを送付してください。送付されたレジュメや資料は、HPから参加者各自でダウンロードしてもらいます。レジュメや資料は、必ず電子データにし、メール添付するようお願いします。

送付先： [kokujyo-newspaper@mail.sit.ed.jp](mailto:kokujyo-newspaper@mail.sit.ed.jp)

## ●第Ⅳ分科会 支部活動を活発にするために

各支部・各学校の状況や活動内容を報告し、日頃の活動における悩みから全道大会のあり方に至るまで、意見交換したいと思います。また、新聞専門部の歴史について確認をし、北海道の高校生新聞の活動が充実していくための方策を討議します。

### ◆具体的な討議内容

- 1 各支部の活動内容、問題点
  - ① 支部大会の日時・具体的な内容、その成果と課題
  - ② 支部活動を活発化させた実践（リモート会議、支部新聞、メーリングリスト等）
  - ③ 各支部の抱えている問題点を報告し、支部活動の活性化のための具体的な取り組みを考える。
- 2 各学校の活動を情報交換し、各学校の活動を活発にするための方策を考える
- 3 支部活動と関わりのある、全道大会のあり方について
  - ① 北海道の新聞専門部の歴史について確認をする。
  - ② 全道大会がもたらす支部活動への恩恵は何か、意見交換する。
  - ③ 各学校の活動・支部活動の活発化に貢献する全道大会のありかたについて考える。

### ◆参加者への確認事項

- 1 本年度は参加者レジュメはありませんが、10月19日（月）以降に当番校HPにアップロードされる「支部報告（提言者レジュメ）」を読んで、討議内容について各自考えておいてください。
- 2 「支部報告（提言者レジュメ）」をプリントアウトし、当日は手元に置きながら参加してください。